

(ちば経済トレンド)

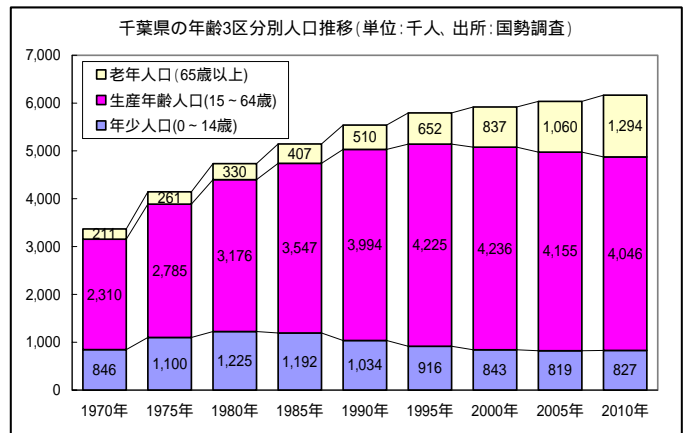
千葉県の子少人口は『団塊ジュニア』や『団塊世代の孫』を含めた若い世代の転入増により 30 年ぶりに増加

6 月 29 日、総務省統計局から「平成 22 年国勢調査抽出速報集計結果」が公表された。抽出速報集計 (1) ながら、全国及び都道府県などの男女・年齢別の人口等について概要が示された。

全国の年齢 3 区分別人口 (2) は、5 年前の前回調査に比べ、年少人口は 724 千人 (同伸び率 4.1%)、生産年齢人口も 3,362 千人 (同 4.0%) と減少したが、老年人口は + 3,621 千人 (同 + 14.1%) と大幅に増加し、少子・高齢化の進行に歯止めが掛からない状態が続いている。高齢化率 (65 歳以上 / 全人口) も 23.1% と世界で最も高い水準となった。

一方、千葉県は、老年人口は 5 年前に比べ + 234 千人 (同伸び率 + 22.0%)、生産年齢人口は 108 千人 (同 2.6%) と全国と同じ傾向にあるが、年少人口は 1980 年の同調査以来 30 年ぶりに増加した (同 + 8 千人で全国 2 位、同 + 1.0% で全国 3 位)。全国で年少人口が増加したのは他に東京都と滋賀県のみ。これは、この 5 年の間に、それ以前よりも千葉県に若い年齢層が多く転入してきた結果、子供を連れての転入や、転入後の出生などにより年少人口が増加したためであり、インフラや住宅地の整備、東京都等に比した地価の安さといった人口吸引力の強さが持続していることが要因として挙げられる。

- 05 年の同調査で 0 ~ 39 歳だった年齢層が、今回調査で 5 歳加齢され 5 ~ 44 歳となった人口数を 5 歳階級別に比較すると (下表)、いずれの年齢層でも純増、すなわち他都県等からの転入者数が自然減 (死亡) や転出者数を上回る「転入超」となっている。この年齢層には『団塊ジュニア』 (3) や『団塊世代の孫』も含まれている。



地域の活力を高め、高齢化進行の速度を抑えるために、若い世代の転入継続は重要である。そのためにも、今後は、インフラ等の整備に加え、震災の経験を生かした安全な都市づくりを実現していく必要がある。(井上)

2005年国勢調査時の5歳階級別年齢人口から「5歳加齢」した2010年同調査時の同人口 (単位: 千人)

05年時の年齢と人口		(各5歳加齢)	5歳加齢した10年時の年齢と人口		増減数
年齢	人口		年齢	人口	
-	-		0~4歳	270	-
0~4歳	265		5~9歳	271	6
5~9歳	278		10~14歳	286	8
10~14歳	276		15~19歳	286	10
15~19歳	304		20~24歳	357	53
20~24歳	365		25~29歳	391	26
25~29歳	411		30~34歳	425	14
30~34歳	500		35~39歳	515	15
35~39歳	451		40~44歳	456	6
40~44歳	393		45~49歳	389	5
45~49歳	361		50~54歳	352	9
50~54歳	420		55~59歳	397	24

転入者数が自然減数 (死亡者数) や転出者数を上回っている、転入超の状態

転入者数が自然減数や転出者数を下回っている、転出超の状態

(1) 抽出速報集計…全世界の約100分の1を抽出したもの。
 (2) 年齢3区分人口…年少人口: 0~14歳、生産年齢人口: 15~64歳、老年人口: 65歳以上という
 (3) 団塊世代: 1947~49年生、団塊ジュニア: 団塊世代の子供で1970~75年生、団塊世代の孫: 団塊ジュニアの子供 (詳細資料なし)